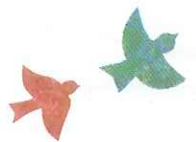


岡山コミットメント(約束)2014 (解説版)



2014年10月に「ESD 推進のための公民館・CLC 国際会議～地域で学び、共につくる持続可能な社会～」が岡山市で開催されました。29 か国から集まった 650 名を超える参加者は、2015 年以降もコミュニティに根ざした学びを通じて ESD を推進することを合意し、「岡山コミットメント(約束)2014」を採択しました。この解説版は、コミットメントを多くの人と共有するため、わかりやすくしたものです。

国際会議はなぜ岡山で開催されたの？

岡山地域では、2005 年から多様な人や団体が協力しながら ESD を推進しており、同年 6 月には、国連大学から世界で初めて認定された 7 つの ESD 地域推進拠点(RCE)のひとつになりました。岡山市では、中学校区ごとに設置されている 37 の公民館を拠点に ESD を推進してきました。また、2007 年の「公民館サミット in 岡山」をはじめ、公民館とアジアを中心とする CLC(コミュニティ学習センター)の ESD 推進に向けた交流活動などの経験を活かし、これまでの成果や課題を振り返り、今後の ESD 推進について議論するため「ESD 推進のための公民館・CLC 国際会議」が開催されま

ところで、ESD って何？

今、世界には気候変動や生物多様性の危機、貧困や紛争などたくさん問題があり、人間社会の持続性が危ぶまれています。これらの複雑に絡みあう問題を解決し、将来の世代に渡って全ての人々が安心して暮らせる持続可能な社会づくりに向けて、必要な価値観や行動、ライフスタイルを身につけるための学びや教育が「ESD(持続可能な開発のための教育)」です。国連は 2005 年から 2014 年を「ESD の 10 年」と定め、世界各地で ESD が推進されてきました。2015 年には、実践を加速させるため「ESD に関するグローバル・アクション・プログラム」という新たな枠組みがスタートしました。

どうして公民館・CLC が大切なの？

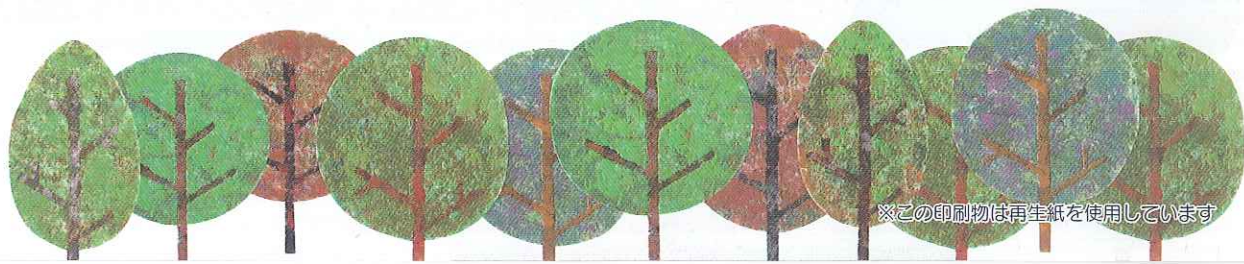
ESD は、生涯を通じたあらゆる場で実践される必要があり、学校教育とともに、社会教育も大きな役割を担っています。公民館や CLC などのコミュニティに根ざした学びを促進する施設は、人々の日頃の関心を言葉にし、気づきを促すとともに、地域の問題を自分事として捉え、より持続可能な社会を作ろうという希望を多くの人々と分かち合うことを支える場を提供しています。

公民館や CLC はこれまで、次のような役割を通して持続可能な社会の実現に貢献してきました。

- コミュニティにおいて住民の主体性や参画を促す ESD 推進の場
- 多様な機関・団体や教育分野の橋渡し役
- 柔軟で、誰も排除されることのない、あらゆる人に対する教育の提供者
- 先人の知恵や地域の歴史を踏まえ、生活に根ざした学びの進行役
- ICT等の技術を活用した革新的で効果的な学びの媒介役
- 互いの立場や見解を尊重し合い、世代を超えて共有される多様な知識や文化の調和を織りなす織り手
- 生涯を通じた学びを促すコミュニティ教育の専門家の能力向上のための機関
- 自分のためだけでなく、広くコミュニティのために行動できるよう住民が力をつける拠点

会議参加者はどんな約束をしたの？

参加者は、準備期間および会議 3 日間の、透明で開かれた参加型の議論を経て、2015 年以降もコミュニティに根ざした学びを通じて ESD を推進することを、次のように約束しました。(詳しくは裏面をご覧ください)





私たちの約束



このコミットメントで示された役割や貢献は、私たちの行動を未来に導くものです。
私たちは「国連 ESD の10年」を超えて ESD を継続し、前進させることを固く約束します。

1. 公民館・CLC 活動には ESD の視点が重要であることと、ESD 推進のためには公民館・CLC が重要な拠点の一つであることを、より多くの人や団体や機関に認識してもらう。
2. 地域および世界における課題解決に向けて、同じ課題に取り組む人々およびコミュニティ同士が将来を見通しながら連携し、行動する。
3. 住民が積極的に地域づくりに参画できるよう、職員の専門能力や組織の力量を向上し、活力ある公民館・CLC にする。
4. 変化する社会のニーズに対応しつつ、実践の記録や研究を継続し、課題解決に果敢に挑戦する。
5. すべての人が生涯にわたって学べるように、情報・資料を集約し、気軽にアクセスできるようにするとともに、公民館・CLC 等との連携を通して、先進的な実践事例を共有する。
6. 住民の一人ひとりはもちろんコミュニティ全体として、気候変動や生物多様性、困難に立ち向かう力(レジリエンス)、防災、食料や栄養に関する教育を進めていくために、学びを通して課題解決の力を身につけるよう支援する。
7. 表現の自由についての学びの場や、平和な社会を創るための紛争解決のスキルを身につける学びの場を提供し、広める。
8. コミュニティにおいて疎外されている人々、馴染めない人々が、コミュニティに参加し、安心して暮らしていけるための学びの機会を提供する。
9. 若者が仕事に就くための能力や、生活上の技能、社会に参画できる力を身につけられるようにするとともに、公民館・CLC の活動における若者のリーダーシップを支え、活動が世代を超えて維持され発展するようにする。
10. 識字における男女格差をなくすために少女および女性の教育を重視し、少女および女性が安心できるような家庭や社会環境を築くとともに、性別に関わらず誰もが社会づくりに参画できる機会を確保する。
11. 各コミュニティが地域の課題を発見し、解決するために様々な支援を行い、多様な文化や暮らしが尊重される地域社会をつくる。
12. 公民館・CLC における活動を支援するためには、ボトムアップとトップダウン両方の進め方が必要で、総合的で明確な政策を作成するよう関係当局に働きかける。
13. コミュニティ、企業、地方、国家、国際機関から 資金と技術を獲得する。
14. ESD を通して地域から地球規模までの課題解決に取り組んでいる公民館・CLC における活動を支援するよう、政府や政策当局、国際機関、民間企業に働きかける。
15. ESD に関するこのコミットメント(約束)を世界の自治体や学校、研究機関などの既存のネットワークや将来つくられるネットワークと共有し、課題解決にむけて共に活動する。

コミュニティの主役はあなたです。

持続可能な社会づくりを目指して、一緒に地域から取り組んでいきましょう。

岡山市立公民館の ESD 活動については実践事例集「れんめんめん」をご覧ください。

「岡山コミットメント(約束)2014」の原文は HP からダウンロード可能です。[岡山コミットメント](#) で検索
岡山地域の ESD 情報は HP をご覧ください。[おかやま ESD なび](#) で検索

作成・お問合せ：岡山市立中央公民館
住所：岡山市中区小橋町一丁目 1-30
電話：086-272-7886

